成蹊（せいけい）大学文学部教授

成蹊大学

学生サポートセンター

学生相談室専任

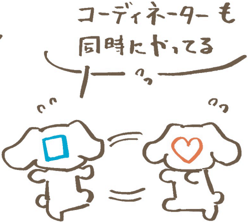
カウンセラー

岩田淳子

発達障害学生支援で
カウンセラーに求められること

成蹊(せいけい)大学　岩田淳子(いわたあつこ)

大学によって
カウンセラーの
配置に差



1. 発達障害学生へのカウンセリングにおける留意点

・信頼関係作りが最も重要

・面接の目標を明確にする

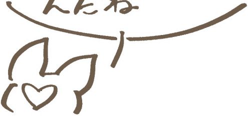
カウンセラーと学生では見ているものがちがう時もある

- **発達障害のない人とのカウンセリングのちがいを理解する**

R.M.Marcus, 2005 によると

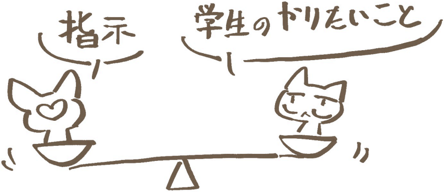
→ 障害の特性を具体的なエピソードとして言語化

人の声や足音がすごく気になるんだね



率直な気持ちや態度で語る

高度な指示的アプローチであること



視覚的なツールを用いる

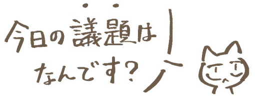
来談者との生活場面をともにする第三者と連携

自閉症の人のカウンセリング：一般原則

これも R.M.Marcus 2005

抽象的な考え → 文章や視覚を用いてわかりやすく

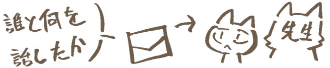
十分な下準備をする



創造力をはたらかせる

目にうかぶようなエピソードをきいていく

情報を整理し相談者に渡す



話の要点をすぐに理解できない場合、処理する時間を与える

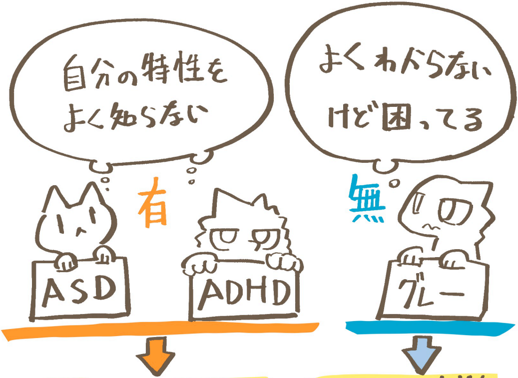
相談者をよく知る人（親など）からの情報に基いて考える

「心理教育」を行う

→人の感情や対人関係に関することを具体的かつ詳細に教える

2 カウンセリングで行うべきアセスメント

アセスメントは診断の有無に限らない



支援、**合理的配慮**へとつなげる

困りごとの対策を見つけられるような聞きとり

状況・文脈依存的であると留意

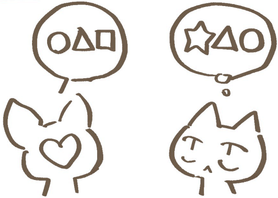
面接室の中では問題が
見えづらいこともある

その人をよく知る
人から情報収集

社会性・社会的交流の特徴の評価

コミュニケーションの特徴から支援を検討

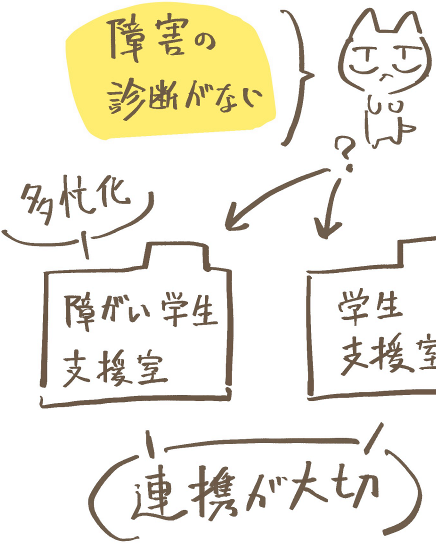
相手や状況でかわることもある



情報の受けとりそこない
ごかいがないか

うまくいかない時は
支援の方向を修正

③ 成蹊大学 学生サポートセンター 相談支援の仕組みと工夫



制度ありきではなく
学生の困りごとに対し
なにをできるか

④ カウンセラーと学修支援コーディネーターの「新しい相談・支援様式」

カウンセリング

学修支援

コーディネイト

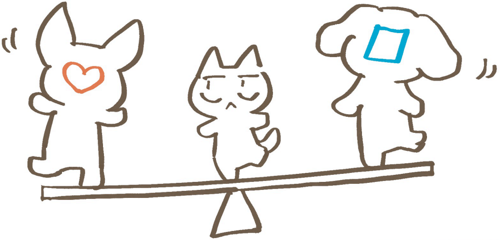
どんな合理的配慮ができるかというアイディア

Go Hai

How to 合配

課題

カウンセラーとコーディネーターの役割分担どうするか



合理的配慮（制度）

昔ながらの学生相談

あいまいでむずかしい